

△ベサコリン散 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ベタネコール塩化物 (U) bethanechol 【分類】 消化管機能促進薬

【単位】 △5%散

【常用量】 30～50mg/日

【用法】 分3～4 (悪心・嘔吐を少なくするために空腹時に服用)

【透析患者への投与方法】 正常腎機能者に同じか、やや減量して投与開始する (1) 【その他の報告】 透析患者にジソピラミドを投与した際の、代謝物の蓄積による抗コリン作用を相殺するために用いることがある (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 Cr_e 10mL/min 以上：減量の必要なし、Cr_e < 10mL/min：やや減量して投与開始する (5)

【特徴】 節後副交感神経刺激によるムスカリン様作用により胃腸の運動と緊張を高め、胃液の分泌を亢進する。術後及び分娩後弛緩している膀胱や消化管の筋緊張を高め、排尿を促し、腹部ガス膨満を改善する。コリンエステラーゼによる加水分解を受けないので、効果持続がやや長い (2 時間程度)

【主な副作用・毒性】 心悸亢進、胸内苦悶、胸やけ、悪心・嘔吐、発汗、た液分泌過多、腹痛、頭痛、発熱、顔面紅潮など。コリン作動性クリーゼの場合は投与を中止し、アトロピンを投与。

【F】 不明 (1)

【tmax】 75min (1)

【排泄】 尿中回収率 52% (1) 尿中回収物のうち、代謝物のβ-メチルコリンの割合が 95%、未変化体の割合は 3% [ラット] (1)

【Vd】 不明 (1)

【MW】 196.68

【透析性】 資料なし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない

【相互作用】 コリン作動薬、コリンエステラーゼ阻害薬との併用により作用増強 (1)

【効果発現時間】 30～60min 【最大効果発現時間】 約 1hr

【効果持続時間】 6hr まで、用量依存性

【更新日】 20150825

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。